

広島大学霞キャンパス管理一体型 ESCO 事業提案の講評・概要

本 ESCO 事業は、「広島大学エネルギー管理規則」に基づくエネルギーの使用の合理化および温室効果ガス排出抑制の推進をより一層進めるため、民間のノウハウ、資金、経営能力及び技術的能力を活用するシェアード・シェイピングス契約の管理一体型 ESCO 事業です。

先般、広く事業提案を募集したところ 2 企業グループから事業提案が提出されました。

広島大学霞キャンパス管理一体型 ESCO 事業公募型企画競争審査委員会は、これらの提案書に基づいた各企業グループのプレゼンテーションにより、提案審査要項に則り厳正かつ慎重に審議した結果、最優秀提案（優先交渉権者）として、アズビル㈱を代表とするグループ、優秀提案（次選交渉権者）として、三菱 UFJ リース㈱を代表とするグループを選定しました。

最優秀提案の概要は、熱源システム再構築・運用最適化、非常用電源の能力強化及び雑用水供給能力の強化に伴う非常時の BCP 対策、クラウド活用学習型 VWT 制御、ICT 活用による施設管理の最適化、施設管理による省エネ・コスト削減等妥当性がある提案となっています。また、省エネ効果等に加えて大学の利益総額が大きく、本学の公募要項に沿った提案と高く評価しました。

また、優秀提案の概要は、高効率熱源機（磁気軸受ターボ冷凍機・熱回収チラー等）、高効率給湯器、ITC 活用による施設管理及び遠隔監視による省エネ効果の計測・検証等本学施設の今後の省エネルギー方策及び施設管理のあり方を示唆する優れた提案であると評価しました。

今回の募集に際しては、対象が広島大学霞キャンパスであること、既存設備の施設管理が含まれること、また、事業対象施設（教育・研究施設及び病院）を踏まえた省エネ設備更新及び運用改善・施設管理、また、災害時等の緊急事態に配慮した計画等の提案を要請しました。各々のグループからはこれに応じた様々な設備更新計画、運用改善や施設管理手法等の提案があり、省エネルギー、二酸化炭素削減及び光熱水費等の効果的な削減につながる先進的で意欲的な優れたアイデアが提案されました。

本事業の実施にあたり、こうした高い技術力と優れたアイデアに基づいた貴重なご提案をいただき、かつ多大なご労力をご提供いただいた提案者に心から敬意と感謝の意を表しお礼を申し上げます。

平成 30 年 2 月 28 日

広島大学霞キャンパス管理一体型 ESCO 事業
公募型企画競争審査委員会